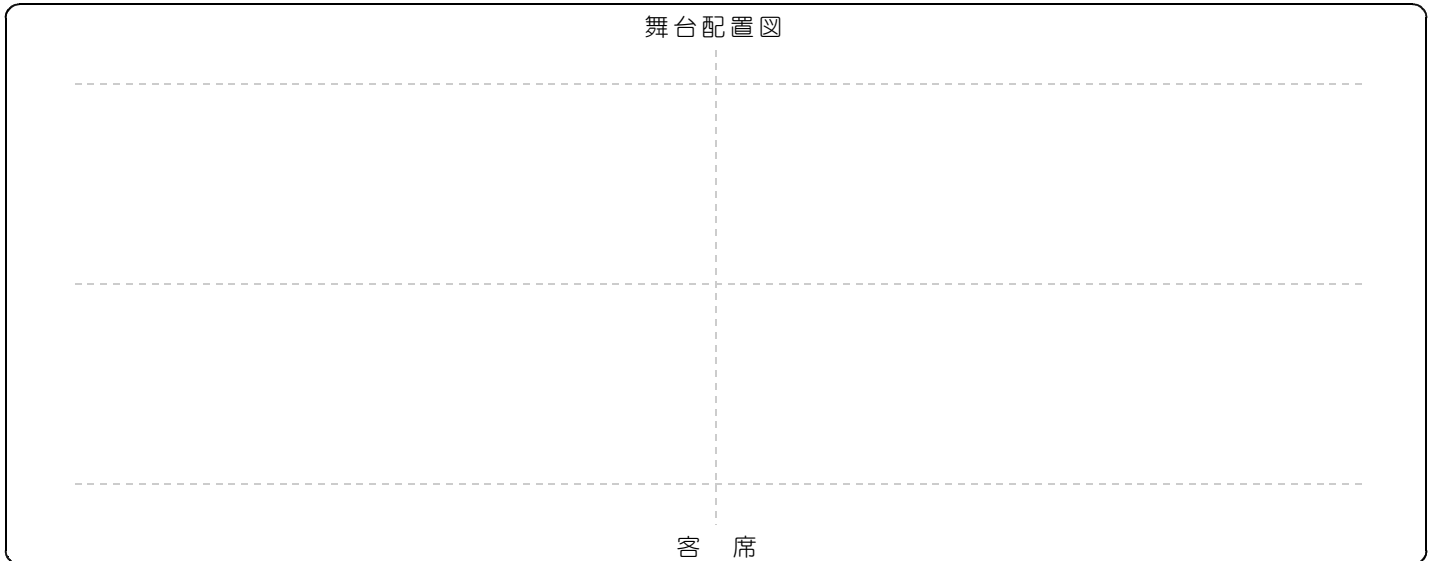


No.	展	演奏者数	演奏時間
-----	----------	------	------



客 席

表示記号一覧	一 箏	= 17絃	+ 三絃	0 尺八	≠ 他楽器	* マイク	□ モニター	□ 毛氈	W 屏風
立 奏	立奏台	大 台	小 台	椅子	大 台	小 台	譜面台	台	ハイター 枚
座 奏	琴台	台	見台	台	山台	録音 有：無	録画 有：無	他	
始	緞帳：暗転	板付	毛氈 緋：紺	音響					
終	緞帳：暗転	板付	屏風 金：銀	照明					

調絃表	ピッチ A=44				編成：1箏			2箏		3箏		17絃-1			17絃-2		
	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	斗	為	巾				
1 箏														1 2 3 箏 共通			
2 箏	G	C°	D°	F°	G°	G#°	A°	C°	D°	F°	G°	G#	A				
3 箏	ハーモニックスは3箏のみ																
17絃	D	F	G	G#	A	C	D	F	G	G#	A	C	D	F	G	G#	A
1&2	17絃 2 は一絃に何カ所かランダムにハーモニックス印																
	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	1	2	3	4	5	6	7

編成欄には面数を記入 開始調絃は太字 転調は上下の欄 ハーモニックスは右肩に○

作曲年 1990年 委嘱者 箏五人展 構成 箏 I・II・III・十七絃 I・II 時間 11分 出版楽譜 無し
 解説 この曲での三面の箏は全部が同じ調絃、同じ音域に統一されている。また、二面の十七絃は箏のオクターブ下に調絃されてやはりこれも同じ音域を与えられている。曲は二つの部分から成り、I は十七絃の静かな漂いに始まるが、やがて一方の十七絃が刻むDとGの響きを縫って音達の騒めきが、展示され、箏のトレモロの部分最高潮として、もとの静けさへと帰って行く、II は箏と十七絃との掛け合いが全体を支配しており、I とは対称的な躍動感に溢れ、はっきりとしたリズムの刻みと速いテンポに終始する。題名の“箏のための展”は五人展というグループ名に因んでいる。1990年9月作曲。 [作曲者] 収録媒体 ー